

I 令和7年度事業報告

えひめ地域活力創造センター（tiliki）は、令和4年4月に組織を再編し、愛媛県の人口減少対策の方向性を踏まえ、活動の軸足を移住促進及び交流人口の拡大に置くとともに、①移住交流促進、②地域活性化促進、③人材育成促進を事業の3本柱に位置付けた。

また、それまでのシンクタンク型組織から、「人口減少社会における地域の活力創造」を目的とした価値創造志向の実践型組織へとシフトを図り、中期的な活動方針を策定して、既存事業のブラッシュアップとともに、地域づくり団体や経済団体と連携した事業を積極的に実施するなど、前向きで効果的な事業運営に努めている。

《今後5年間を見据えたセンター活動方針》R4.4 策定

- 県の人口減少対策の方針を踏まえ、移住促進・交流人口増に軸足を置いた事業遂行により「重点戦略」の目標に寄与
- 価値創造思考の実践型組織として前向きで機動的・効果的な姿勢を徹底
- マネジメント力強化と業務の効率化を図り、限られた財源の範囲で貴重な人的資源を有効活用し、新たな施策を積極展開
- 市町、団体、大学、民間等との連携により、人口減少問題に立ち向かう地域を、様々な機関が連動して多角的に支援するハブ的機能を目指す

令和7年度は、地域の特性に応じた自主的、主体的な取組みを後押しする現場伴走型の組織として、実践的な施策の推進に取り組んだ。

1 移住交流促進事業

センター内に設置の「愛媛ふるさと暮らし応援センター」の機動的な運営を図るとともに、駐在する県の移住推進グループと一体となって、更なる移住促進や若年層の転出抑制による定住人口の確保、それを補う交流人口や関係人口の拡大を図った。

(1)愛媛ふるさと暮らし応援センター運営事業

（愛媛県から受託）

センター内に移住相談窓口「愛媛ふるさと暮らし応援センター」を設置・運営し、移住促進に係る受入側と希望側の多様なニーズにきめ細かくかつ柔軟・的確に対応した。

- ・市町の移住者誘致の取組みに対する個別指導・助言
- ・移住希望者に対する移住先の紹介及び市町への取次ぎ
- ・移住動向の調査分析
- ・移住パンフレット「えひめ暮らし」の改訂
- ・県や市町における移住関連イベントの開催支援
- ・えひめ移住応援隊・えひめ愛着倶楽部の運営

名称	内容	登録数	R6年度
えひめ移住応援隊	本県の移住促進の取組みに賛同し、愛着倶楽部会員に各種料金の割引やサービス、移住検討や定住に役立つ地域の情報を提供	92 事業者	86 事業者
えひめ愛着倶楽部	県が指定する移住イベントに参加するなど、愛媛県に興味を持ち、将来的に愛媛県への移住を考えている方	837 名	392 名

(2)愛媛ふるさと暮らし応援センター情報発信等事業（えひめ移住交流促進協議会から受託）
 移住相談窓口「愛媛ふるさと暮らし応援センター」で情報発信の強化に取り組んだ。

①「えひめ移住ネット」及び「えひめ空き家情報バンク」の運営及び内容の充実

開設日	掲載情報	閲覧者等
H19.9.10	<ul style="list-style-type: none"> ・住居・就労・生活関連情報（市町 HP へのリンク等） ・移住経験者の体験談 ・移住関連イベント情報 ・住まい（空き家）情報 	<ul style="list-style-type: none"> ・えひめ移住ネット 閲覧者数：241,511 人 ・えひめ空き家情報バンク 登録物件数：201 件 成約物件数：19 件 （うち県外移住者成約数：8 件）

②全国移住フェアへの出展、広域連携による移住・交流イベントの運営補助

	日付	名称	場所	出展団体	来場者数	相談件数
1	R7.7.19(土)	おいでや！いなか暮らしフェア	大阪	県 6市町	928組 2,287名	50件
2	R7.9.20(土) 9.21(日)	ふるさと回帰フェア	東京	県 4市町	約 30,300名	115件
3	R7.10.4(土)	四国暮らしフェア	東京	県 5市町	115組 162名	74件
4	R7.10.18(土)	中国四国もうひとつのふるさと探しフェア	大阪	県 5市町	200組 263名	75件
5	R7.11.22(土) 11.23(日)	JOIN 移住・交流&地域おこしフェア	東京	県 6市町	3,113名	55件
計						369件

③移住体験希望者の受入れ「えひめ de 仕事体験」

・申込件数：6件、実施件数：2件

実施事業者	実施件数	実施日
合同会社みちしおプロジェクト	1件	R7.9.3～R7.9.5
株式会社ふたみファーム	1件	R8.1.23～R8.1.25

④PR ツールの作成

・「おかえり愛媛通信」 1,000部

⑤えひめ地域移住相談員の育成強化

地域移住相談員交流研修会の開催

日付	場所	内容	参加者数
R7.6.6(金)	愛媛県生活文化センター(松山市)	1 愛媛県の移住施策について (1)愛媛県の移住施策について (県) (2)令和7年度えひめ地域活力創造センター運営事業について (tiliki) 2 トークセッション「移住相談のコツ」(えひめ移住コンシェルジュ) 3 実践演習(グループワーク)	37名

(3) えひめの移住力総合強化事業

(愛媛県から受託)

全国的に加速化している都市部から地方への移住・交流の流れを捉え、地域の担い手となる移住希望者を確保するため、市町及び関連団体等と連携し、メインターゲットである若者世代（20代・30代）とのマッチングを図る移住フェアを東京・大阪で開催するとともに、オンライン移住フェアを開催した。

① 対面式移住フェアの開催

	日付	場所	出展団体	来場者数	相談件数
1	R7.8.3(日)	東京	31(県・20市町・10団体)	229組 327名	528件
2	R7.10.19(日)	大阪	36(県・20市町・15団体)	121組 190名	457件
3	R8.2.1(日)	大阪	34(県・20市町・13団体)	119組 172名	396件
4	R8.2.21(土)	東京	30(県・20市町・9団体)	244組 337名	557件
	計			713組 1,026名	1,938件

② オンライン移住フェアの開催

	日付	名称	参加者数
1	R7.6.17(火)	移住のためのファーストステップ ～移住をしたい理由は何ですか？～	37名
2	R7.7.8(火)	移住のためのファーストステップ ～移住情報の集め方とコツを伝授～	33名
3	R7.8.19(火)	こっち（愛媛）に来たら話してみ！ ～地域の人と仲良くなろう！すぐに使える会話術	19名
4	R7.9.30(火)	えひめで暮らそう！ 家探しのポイントをプロが解説	18名
5	R7.12.16(火)	愛媛に移住就農した2年目のリアル	21名
6	R8.2.10(火)	地方移住に興味のなかった私が、地域で活躍する “マルチワーカー”へ	65名
	計		193名

(4) 南予移住拡大事業

(愛媛県から受託)

県内の中でも人口減少率や高齢化率が突出して高い南予地域の担い手となる移住者誘致の拡大を図るため、南予移住マネージャーを配置し、南予への移住促進に向けた受入体制と人的ネットワークの強化、各市町や地域への移住促進に向けた仕組みの構築を図った。

〈南予移住マネージャー〉 山口 聡子

〈設置場所〉 南予テレワーク移住支援拠点 COWORKING-HUB nanyo sign

(喜多郡内子町内子 2023 内子まちな駅「Nanze」2階)

① 南予移住者交流会の開催

南予地域への移住者や地域住民などを対象とした交流会を開催し、移住者ネットワークの形成を通じた移住希望者の受け皿づくり及び多様な主体が参画した地域レベルでの人が人を呼び込む体制づくりの促進を図った。

日付	場所	内容	参加者
R7.11.16(日)	卯之町駅前複合施設 ゆるりあん (西予市)	・ワークショップ (チャイづくり等) ・利きみかんジュースコーナー	118名

②南予移住促進連絡会議の開催

南予9市町における好事例の横展開や、複数市町連携による受入体制づくりなどに向けた意見交換の場として開催した。

	日付	場所	内容
1	R7.11.19(水)	愛媛県 八幡浜支局 (八幡浜市)	・2市町の好事例の紹介(内子町・西予市) ・えひめ南予子育て移住促進協議会事業の実施状況について ・南予移住マネージャーの活動状況について ・意見交換
2	R8.2.12(木)	オンライン 開催	・今年度の広域連携について ・各市町の情報共有について ・今後の当事業のあり方について

(5)えひめ南予子育て移住促進協議会事業 (えひめ南予子育て移住促進協議会から受託)

人口減少率が県内平均を大きく上回るとともに、人口・世帯数ともに全体で減少している南予地域への移住促進を図るため、南予9市町(宇和島市、八幡浜市、大洲市、西予市、内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町)を対象に、子育て世帯及び将来の子育て世帯(若年者夫婦)をターゲットにした移住施策を展開した。

①セミオーダー型移住体験ツアーの運営

- ・申込数 30世帯・93名
- ・実施数 14世帯・42名
- ・体験市町 宇和島市6世帯、八幡浜市2世帯、大洲市5世帯、西予市5世帯、内子町6世帯、伊方町3世帯、松野町2世帯、鬼北町3世帯、愛南町3世帯(1世帯：1市1町以上重複あり)

②えひめ南予移住イベント企画運営の補助

- ・イベント名 南予・愛媛博(なんよ・えひめはく)
- ・日時 令和7年11月9日(日)10:00~15:00
- ・場所 杉並サイエンスラボ IMAGINUS(東京都杉並区)
- ・コンセプト 南予9市町がそれぞれの魅力を持ち寄り、万博のように「くらしパビリオン」を展開する。南予の9市町を“旅するようにめぐる”ことで、食・文化・自然・人との出会いを体験していただく。
- ・プログラム
 - ・子どもクイズ大会「めざせ!愛媛県南予地域ものしり博士!」
 - ・トークイベント「ライセンス藤原ファミリーの南予移住体験レポート」
 - ・ワークショップ ほか
- ・来場者数 387人

(6)移住と雇用のマッチング促進支援事業

人口減少が進む南予地域の移住促進と雇用人材確保を目的として、令和6年度に構築した「移住と雇用のマッチングシステム」(=移住希望者をターゲットに、地元企業・

事業者の求人情報を、県や市町の相談ツールを通じてダイレクトに提供（紹介）する実装型の仕組み）について、次のとおりフォローアップ事業を実施した。

〈共催〉愛媛県商工会議所連合会、愛媛県商工会連合会、
（公財）えひめ産業振興財団（愛媛県よろず支援拠点）

①相談窓口の設置（R7.4.1）

システムの使い方などの相談に対応するワンストップの相談窓口を tiliki 内に設置

- ・事業者等からの相談対応・フォローアップ
- ・事業者等向けマニュアルの作成・改定
- ・システムの認知度向上及び市町・商工団体等との連携

②PRツールの作成等

- ・事業者向けチラシやパンフレット等の改訂（R7.12）→配布枚数：約4千枚
- ・移住希望者向けチラシの作成（R8.1）→作成枚数：約4千枚
- ・関係団体HP等への掲載、移住フェアや県外相談窓口での配布等

③南予事業者講習会「移住（UIJ ターン）希望者に届く求人とは」開催

	日付	場所	内容	参加事業者
1	R7.8.27(水)	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の概要説明 ・講演① 「南予地域への移住（UIJ ターン）希望者のニーズについて」 (講師：ふるさと愛媛Uターンセンター 瀧 周太朗氏) 	37 団体 (うち事業所 20 社)
2	R7.8.29(金)	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・講演② 「南予で働く魅力を伝える！移住者採用の求人票作成」 (講師：愛媛県よろず支援拠点 井上 和子氏) 	30 団体 (うち事業所 20 社)

④求人情報の登録及び発信（R8.2 末時点）

- ・求人情報の登録 67 求人（宇和島市 35、八幡浜市 6、大洲市 11、西予市 8、内子町 2、伊方町 2、松野町 0、鬼北町 2、愛南町 1）
- ・求人情報の発信 えひめ移住ネット、移住フェア（東京 2 回、大阪 2 回）
センターHP の求人情報掲載方法の改善（条件検索を可能に）

⑤市町、商工団体等との意見交換の実施

- 南予商工会議所・県商工会議所連合会（各専務理事）
 - 第 1 回：R7.10.14（火） 場所：県商工会議所連合会 4 階
 - 第 2 回：R7.12. 9（火） 場所： 〃
 - 第 3 回：R8.1.21（水） 場所： 〃
 - 第 4 回：R7.2.17（火） 場所：オンライン
- えひめ南予子育て移住促進協議会総会（南予 9 市町）
R7.4.21（月） 場所：愛媛県八幡浜支局
- 南予移住促進連絡会議（南予 9 市町）
R8.2.12（木） 場所：オンライン
- えひめ農林漁業振興機構
R7.7.15（火） 場所：愛媛県林業会館内

2 地域活性化促進事業

センター職員がアドバイザーとして現場に飛び込み、市町や地域づくりの担い手の方々と一緒に活動し、地域の資源や特性を生かして交流と賑わいの創出を図った。

(1)えひめ地域活力創造フォーラム開催事業

地域づくりに関するタイムリーなテーマでフォーラムを開催し、地域づくりに関わる方々の更なる意識醸成を図った。

今年度は、各地のまちづくりに携わり、ファシリテーションやコミュニケーション分野で指導・実践されている有限責任事業組合の共同代表を講師として招聘し、「傾聴力」をテーマに講演を実施した。

講演では、参加者同士による実践的なミニワークを通じて「傾聴」の理解を深めるとともに、地域づくりに典型的に見られる課題の発生要因、並びに傾聴を通じて改善に至った地域の具体的事例について共有した。

また、県内外でファシリテーターとして活躍されている方々、及び地域活動に参画している大学生を登壇者として迎え、パネルディスカッションを実施し、多角的な視点からの意見交換を行った。

〈第4回愛媛地域活力創造フォーラム〉

- ・テーマ 「聴くからはじめる地域づくり～聴いて、話して、繋がって～」
- ・日程 令和7年10月11日(土)
- ・会場 ネットヨタ愛媛(株)だんだん PARK だんだんホール
- ・基調講演
 - ・テーマ：「聴くからはじめる地域づくり～聴いて、話して、繋がって～」
 - ・講師：東 信史(有限責任事業組合まちとしごと総合研究所 共同代表)
- ・ディスカッション
 - ・テーマ：「聴くことの大切さ」
 - ・ファシリテーター：板垣 義男(一般社団法人えひめ暮らしネットワーク 代表理事)
 - ・パネリスト：東 信史(有限責任事業組合まちとしごと総合研究所 共同代表)
菊間 彰 (一般社団法人をかしや 代表理事)
山崎 琴乃(愛媛大学社会共創学部)
- ・共催 愛媛大学社会共創学部、一般社団法人えひめ暮らしネットワーク
- ・参加者 34名

(2)持続可能な地域運営実践支援プラットフォーム運営事業

センターと関係機関が連携・協力してプラットフォームを構築し、地域の持続的発展に有効な対策や実効性の高いノウハウなどを提供することで、地域運営組織(RMO)の自立的活動をサポートするとともに、地域運営の実践例を横展開するなどの各種事業を実施し、集落機能の維持と地域の魅力創出、関係人口の増を図った。

①先進地視察 先進地での学びや体験から、地域の新たな可能性を見つける

日付	派遣 RMO	派遣先	視察内容
R7.7.28(月) ～30(水)	嶺南ふるさと創生 プロジェクト	神奈川県川崎市 静岡県富士市、 伊豆市、沼津市	地域の農作物を活かした特産品開発や観光振興への取り組み
R7.8.25(月) ～26(火)	横林自治 振興協議会	奈良県 明日香村、川上村	地域農作物のオーナー制度の活用、移動スーパー、コミュニティナース等

②研修派遣 地域課題のテーマを選び、現場で集中的に学び交流する

日付	派遣 RMO	研修先	研修内容
R7.9.24(水) ～27(土)	かりとりもさ くの会	埼玉県 横瀬町	(一社)地域活性化センター主催「日本一チャレンジする町で持続可能なまちづくり～地域おこし協力隊との連携で地域を変える～」

③**専門家マッチング** 課題解決に向けて専門家を派遣し地域運営を高次化する

RMO	専門家	内容	派遣日
遊子川もりあげ隊	NPO 法人 Eyes コーディネーター 光野 達也 南予移住マネージャー 山口 聡子	集落づくり計画 書の見直し、組 織再編	第1回 R7.6.18(水) 第2回 R7.10.27(月) 第3回 R8.2.3(火) 第4回 R8.2.26(木)
横林自治振興 協議会	Cuddle フードコーディネーター 長尾 愛理	地域製品のブラ ンディング等 (継続案件)	第1回 R7.8.19(火)
NPO 法人 TEtoTE	一般社団法人をかしや 代表理事 菊間 彰 JMRC 四国 運営委員長 金井 宣夫	地域資源の発見 と活用	第1回 R7.7.14(月) 第2回 R7.8.12(火) 第3回 R7.10.4(土)

④**地域づくり課題解決勉強会 & 交流会** 地域運営を支援する人材の学びと交流の場を提供した。

日付	テーマ	内容	参加者
R7.5.23(金)	中間支援	行政と住民の間にある「中間支援組織」とは 場所：ゆりラボ(久万高原町)	12人 (定員10名)
R7.11.7(金)	中間支援	地域と人をつなぐ「伴走者」の在り方 場所：阿部邸ハルモニの家(宇和島市)	10人 (定員10名)
R8.2.10(火)	空き家管理	“惜しい空き家”の行末は？ 場所：SAIJO BASE(西条市)	14人 (定員15名)

⑤**地域づくりモニタリング** プラットフォーム運営を円滑に進めるためのリサーチ
県下全市町で実施 延べ訪問回数：98回

⑥**アーカイブ作成** 事業活動により得られた知見をアーカイブ化し関係者間で共有

(3)**地域づくり活動アシスト事業**

地域づくり活動の活性化を図るため、県内の地域づくりグループのワークショップやイベントの開催、広報資料の作成などの活動経費を助成するとともに、情報誌等により活動内容を公表することで地域づくりグループのネットワークづくりを行った。
(助成上限額：100,000円)

団体・事業名	市町	目的・主な内容
NPO ハルモニ	宇和島市	(目的) ・女性が輝き、子育てしやすい岩松の地域づくり ・重伝建認定を契機とした地域内外交流、賑わい創出 (主な内容) ・ちょうちん行列、衣装の着付け・撮影会
横林自治振興協議会	西予市	(目的) ・中山間地域の文化等を体験できる拠点「横のbase」を整備し、地域の関係人口創出につなげる (主な内容) ・住民参加型のDIYを組み入れた拠点整備
ひとときのもり	久万高原町	(目的) ・「人と木」をつなぐことで、町の活性化を促す (主な内容) ・子ども向けの木工体験イベントの実施

団体・事業名	市町	目的・主な内容
白滝フロンティア会	大洲市	(目的) ・地域の魅力再発見 ・地域コミュニティの活性化 (主な内容) ・ハロウィンイベントの実施
こもれ陽だまり	内子町	(目的) ・森林に触れる機会の少ない主に都会出身の子どもたちを対象に森林の楽しさを感じてもらう。 (主な内容) ・バーベキュー、昆虫採集
草ほぎボランティア 「いきがい」	宇和島市	(目的) ・閉校となった旧九島小学校の美化 (主な内容) ・月1回の草引き活動
NPO 法人 TEtoTE	久万高原町	(目的) ・地域及び地元小学校の維持存続、地域活性化に向けた活動 (主な内容) ・移住者向けの体験ツアーをPRするチラシ作成

(4)元気な集落づくり応援団「関係人口」創出事業 (愛媛県から受託)

地域活動の担い手が不足している集落を応援するため、祭りや清掃等の手伝いを希望する集落とボランティア活動で応援したい企業・大学等をマッチングすることで、集落と都市との交流を促進し、関係人口の創出に取り組んだ。

	日付	場所	内容	応援者
1	R7.5.31(土)	松山市 久谷地区	第4回松山くぼの町ホテル祭り開催支援 応援企業等：愛媛銀行、聖カタリナ大学、ネコの手	10名
2	R7.6.29(日)	西予市 池野々地区	彩りの丘の草刈り作業 応援企業等：伊予銀行、愛媛銀行、聖カタリナ大学、ネコの手	10名
3	R7.8.3(日)	愛南町 中の谷地区	夏祭り会場の設営、販売補助 応援企業等：伊予銀行	2名
4	R7.8.9(土) 10(日) 11(月)	四国中央市 新宮地区	新宮夏まつり盆踊りの会場準備、片付け 応援企業等：聖カタリナ大学、ネコの手	4名
5	R7.8.14(木) 15(金) 16(土)	内子町 寺村集落	山の神火祭り会場準備、駐車場整理、片付け 応援企業等：伊予銀行、聖カタリナ大学、ネコの手	4名
6	R7.8.30(土)	西予市 池野々地区	彩りの丘の草刈り作業 応援企業等：伊予銀行、愛媛銀行、ネコの手	6名
7	R7.10.12(日)	久万高原町 西谷地区	第3回合格祈願ウォーキングの運営サポート 応援企業等：伊予銀行、フジ・アグリフーズ、ネコの手、三浦工業	8名
8	R7.10.19(日)	伊予市 大久保本谷集落	植樹した桜周辺の草引き活動 応援企業等：伊予銀行、フジ・アグリフーズ、聖カタリナ大学、ネコの手、三浦工業	13名

	日付	場所	内容	応援者
9	R8.3.15(日)	伊予市 大久保本谷集落	桜の植樹作業 応援企業等：伊予銀行、川原塾、聖カタリナ大学、松山大学、ネコの手、三浦工業	15名

(5)地域づくり情報誌発行事業

((公財)愛媛県市町振興協会から受託)

①ネットワーク情報誌「舞たうん」の編集・発行

地域づくりに関する事例や最新情報、センターの業務などを紹介する情報誌「舞たうん」を発行し、会員や県内外の地域づくり関係者に配布した。(各 2,500 部)

番号	特集テーマ	発行
Vol.158	多文化共生社会と地域づくり ～well-being な社会を目指して Part2～	令和7年7月
Vol.159	温泉とまちづくり ～温泉文化を核とする新たな形～	令和7年11月
Vol.160	クルマが人と地域を元気にする！ ～モビリティの多角的な役割と未来～	令和8年3月

②えひめイベント BOX ウェブサイトの運営

地域におけるイベント情報等をウェブサイト「えひめイベント BOX」(令和5年3月開設)に掲載し、最新情報の常時提供や検索性などウェブサイトならではの機能を活用しながら広く発信した。

(6)愛媛大学社会共創学部等との連携及び協働事業

愛媛大学社会共創学部をはじめ、地域づくり活動を積極的に展開する団体等との連携を図り、それぞれの長所を生かした協働による課題解決の取組みを促進した。

① 愛媛大学社会共創学部との連携及び協働事業

愛媛大学社会共創学部のゼミ運営をモニタリングしながら、地域づくり活動へのコーディネートを探求し、教官や学生の研究フィールドや、地域運営組織における活動とのマッチングを図った。

笠松ゼミ	食でつなぐ」をテーマに、手料理を持ち寄る「こっそり食堂」や大洲市の郷土料理「芋炊き」の調理を通じ、地域の歴史や文化を学習。集大成の「さまざままつり」では、学生の多様な出身地の食材を活かした「お雑煮ビュッフェ」等を提供し、交流の場を創出した。今後はマルシェの継続や郷土料理を通じた地域交流の深化を目指している。
竹島ゼミ	西予市野村町横林地区をフィールドに、特産の「原木しいたけ」を活用した商品開発に取り組み、プラットフォーム運営事業と連動して実施した講義では、専門家からターゲット層の明確化や、容量・デザイン・価格設定といった販売戦略の重要性を学ぶ。グループワークでは「しいたけのドレッシング」や「炊き込みご飯の素」について、瓶詰めやパッケージで付加価値を高め、高価格帯で売る戦略を立案し、商品の OEM (製造委託) 先として道の駅の活用も検討している。

②えひめ地域づくり研究会議との協働事業

○「人口減少社会を生きる！フォーラム2025」

- ・テーマ 「インクルーシブの扉よ開け！！共生社会を考える！」
- ・日程 令和7年12月13日(土)

- ・会 場 愛媛大学共通講義棟A 1階「A11 講義室」
- ・内 容 問題提起：愛媛大学社会共創学部准教授 笠松 浩樹
特別講演：「多様性を活かす地域づくり」
NPO 法人創作クラブ「Grian」 代表理事 田窪 良子
リレートーク：
伊予農業高等学校国際教育部
ゲストハウス「ento house」 オーナー シーバース 玲名
多文化共生ハウス UMI 管理人 大家 帆香
ディスカッション
- ・共同主催 愛媛大学社会共創学部、(公財)えひめ地域活力創造センター
- ・参加者 42名

○「地域づくりフォーラム in 大洲・長浜」

- ・テーマ 「今、大洲・長浜の未来を考える！」
- ・日 程 令和8年3月7日(土)
- ・会 場 長浜コミュニティセンター 3階中ホール
- ・内 容 事例紹介：肱川あらしを世界に発信する！！
肱川あらし予報会 代表 濱田 毅
中山間で高齢者を支える地域のミニスーパー
豊茂自治会購買部 副部長 藤淵 良子
長浜の明るい未来を考える！
地域おこし協力隊 濱田 美穂
トークセッション：「地域の明るい未来を考えよう！！」
- ・共 催 (公財)えひめ地域活力創造センター
- ・参加者 52名

③「四国へんろ道文化」世界遺産化の会との協働事業

○「「四国へんろ道文化」世界遺産化の会 2026 おへんろフォーラム」

- ・テーマ 「四国遍路 世界遺産登録に向けて 久万高原町自然再生事業を力に」
- ・日 程 令和8年3月22日(日)
- ・会 場 久万高原町産業文化会館研修室
- ・内 容 基調講演 4名
パネルディスカッション 5名「世界遺産登録に自然再生協議会のチカラを」
登壇者：同上 5名
- ・協 賛 (公財)えひめ地域活力創造センター、えひめ地域づくり研究会議

④(一社)えひめ暮らしネットワークとの協働事業

目 的 地域づくりに関心のある方が集まり、互いの活動や近況を報告しながら交流を深め、それぞれの事業や活動の促進に役立てる。

参加者 えひめ暮らしネットワーク会員、tiliki 職員、行政職員、NPO 職員、地域おこし協力隊(OB・OG 含む)ほか

○「えひめ暮らしネットワークランチ会 in tiliki」

- ・日 程 令和7年5月28日(水)、6月25日(水)、7月31日(木)、
9月30日(火)、12月4日(木)、令和8年2月19日(木)
- ・会 場 センター内フリースペース
- ・参加者数 (延べ人数)：97名

○「えひめ暮らしネットワークランチ会 in 南予サイン」

- ・日 程 令和7年6月23日(月)、7月23日(水)、7月31日(木)、
8月13日(水)、9月9日(火)、10月8日(水)、11月26日(水)、
12月22日(月)、令和8年1月13日(火)、2月17日(火)

- ・会場 COWORKING-HUB nanyo sign (南予サイン)
- ・参加者数 (延べ人数) : 149 名

3 人材育成促進事業

「地域づくりは人づくり」を基本として、地域の特性に即して現場で地域課題に関わる人材の研修や将来の地域を担う若者の育成などの人づくりを進めていくとともに、多様な地域づくり人材との人脈の構築を図った。

(1) 集落サポート人材育成事業 (愛媛県から受託)

市町職員や集落支援員など、地域づくりを支援する人材の育成を目的に、地域づくりに関するマネジメント能力の向上と、地域づくり関係者のネットワーク構築を目的に実施した。

- ・研修名 地域づくりマネジメント講座
- ・日程 全2回 (令和7年11月20日、令和8年2月19日)
- ・会場 第1回：内子町「内子晴れ」 第2回：四国中央市「霧の森交湯～館」
- ・対象 市町職員、集落支援員等
- ・テーマ及び講師
 - 第1回：過疎地における、まちづくりのトレンドを語りあう
総務省地域力創造アドバイザー 鍋島悠弥
古民家ゲストハウス&バー・内子晴れオーナー 山内大輔
西予市横林自治振興高協議会 周藤功治
 - 第2回：ふるさとを守り、デザインする！地域の夢の描き方～四国中央・新宮編～
総務省地域力創造アドバイザー 鍋島悠弥
島根県益田市地域プロジェクトマネージャー 石田貢三
- ・参加者 第1回：10名、第2回：41名

(2) 地域活性化好事例体験情報発信事業 (新規) ((公財)愛媛県市町振興協会から受託)

自治体のトップが「地域活性化の好事例」として高く評価される地域づくりの現場を訪問・視察し、関係者と意見交換することで得た新たな政策立案の発想などの体験談などを、地域づくり情報誌等を通じて県内市町に横展開することで、新しい時代の市町振興に資する。

今年度は、愛媛県内市町の共通課題である廃校等遊休資産の活用策を探るため、「行革甲子園 2024」グランプリを受賞した京都府福知山市の「廃校 Re 活用プロジェクト」を伊予市が視察し、大橋一夫市長らとの対談を実施した。

(地域づくり情報誌「舞たうん」第161号に掲載予定)

- ・視察先：京都府福知山市役所及び The610Base (旧中六人部小学校) 他
- ・日程：令和8年1月26日(月)～27日(火)
- ・参加者：伊予市副市長 青野昌司、総務部長 皆川竜男 (同行：田村副センター長)

(3) えひめ地域づくりアワード・高校生支援事業

県内の高校生が地域住民や民間、大学、行政等の関係者と関わりながら、地域活力創造に向けて主体的に取り組む実践的活動を顕彰する「えひめ地域づくりアワードユース」を開催し、地域で活躍できる人材や地域の関係人口人材等の育成に寄与する。

- ・募集内容 高校生が主体となった地域活性化、地域づくりのための実践活動
 - 学校等での課題研究、部活動、サークル活動など
 - 高校生が地域づくり団体などと連携協働し実施している活動
- ・審査 一次審査：書面
最終審査：一次審査結果の上位グループ等における作品の発表
- ・表彰 優勝、準優勝、地域連携賞、未来賞、優秀プレゼンテーション賞、優良賞、奨励賞

・最終審査及び表彰式

日時：令和7年12月6日(土)、場所：テクノプラザ愛媛

・応募数 11校16作品(延べ328人)

・共催 えひめ地域づくり研究会議

表彰	学校名	グループ等名	タイトル
優勝	南宇和高校	地域振興研究部	なんちゃんい愛南やけど 大切なのは愛なんよ
準優勝	長浜高校	水族館部	長高水族館 Second Stage
地域連携賞	川之石高校	川高果樹班	カルシウムと酵素の力で地域に笑顔を ～スマート農業を活用した新たな挑戦～
未来賞	上浮穴高校	くまもるず	天空の郷に広がる地大豆・地雑穀 ～産官学民で起こす地域資源イノベーション～
優秀プレゼンテーション賞	上浮穴高校	きらくま	きらくまらしく進む先に、つながるもの ～富士吉田市での思いを胸に～

(順不同)

(4)(一財)地域活性化センターとの連携事業

令和4年4月に地域活性化センター(東京都)と締結した「地域の活力創造に向けた事業実施及び人材育成に関する連携協定」に基づき、相互の職員交流やインターン派遣、共同事業を実施し、職員の人材育成や地域づくりの支援などの新たな価値の創造を図った。

①地域活性化センター主催セミナー等の受講

〈地方創生実践塾〉

開催日	テーマ	内容
R7.9.25(木) ～27(土)	日本一チャレンジする町で持続可能なまちづくりを学ぶ～地域おこし協力隊との連携で地域を変える～	<p>講師陣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田端 将伸 横瀬町まち経営課 連携推進室長 ・株式会社 ENgaWA ・椎川 忍 (一財) 団法人地域活性化センター特別顧問 ・三瓶 裕美 (一社) しまね協力隊ネットワーク代表理事 ・鍋島 悠弥 地域おこし協力隊サポートデスク専門相談員 ・田口 太郎 徳島大学大学院社会産業理工学研究部教授 <p>会場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横瀬町町民会館(埼玉県秩父郡横瀬町横瀬 2000 番地) ・エリア 898 (埼玉県秩父郡横瀬町大字横瀬 1926) <p>概要</p> <p>人口減少が続く横瀬町(人口 7,500 人)は「日本一チャレンジする町、応援する町」を掲げ、官民連携施策「よこらぼ」を展開。既存資源の限界から企業や地域おこし協力隊などの外部人材とも連携している。今回は講師陣より、町と協力隊が取り組む「人」中心の持続可能なまちづくりについて学んだ。</p>

②相互インターンシップの実施

両センターの職員が一定期間、インターンとして互いの業務や事業に携わり、職員の資質向上や組織を超えた人的ネットワークの構築を図った。

〈当センターから地域活性化センターへのインターン〉

日程	参加者	主な内容
R7.7.22～ 7.26 (5日間)	2名	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化センター概要レク ・港区における全国連携の取組視察 ・RESAS を用いた地域経済循環分析 ・UNIVERSITY of CREATIVITY ゼミ体験 ・企業視察、施設見学など

〈地域活性化センターから当センターへのインターン〉

日程	参加者	主な内容
R7.11.17～ 11.21 (5日間)	4名	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活力創造センター概要レク ・伊予市行政フィールドワーク ・RMO 役員との意見交換&獣害ツアー（愛南・緑） ・中間支援 NPO 活動視察（宇和島・津島岩松） ・地域づくりマネジメント講座受講（内子・八日市護国） ・大塚理事長との懇談、愛媛散策など

④その他の連携

- ・地域活性化センター情報誌「地域づくり」への寄稿
令和7年8月号

(5)市町職員インターンシップ研修事業（新規）

県内唯一の地域づくり専門組織である当センターが、中長期の研修派遣受入により担ってきた市町職員等の人材育成について、その役割を強化するため、新たに、メニューを絞った効率的な短期の研修機会として「インターンシップ制度」を新設。

今年度は、松前町との間で、町職員の多様な価値観や民間の発想を取り入れ、柔軟な発想力と円滑な連携の推進を目的として、インターン研修に関する協定を締結した。

【協定締結】

- ・締結日：令和7年9月17日（水）
- ・場 所：松前町庁舎3階 応接室
- ・出席者：（公財）えひめ地域活力創造センター理事長 大塚 岩男
松前町長 田中浩介

【インターンシップ研修】

同町職員2名を対象に「市町職員インターンシップ研修」を全5日間実施した。

- ・インターン：松前町保健福祉部福祉課 澤田主事、同産業建設部産業課 上本主事

回	月日	内容
1	R7.12.4	<ul style="list-style-type: none"> ・tiliki で事業説明等 ・西予市「狩江地域づくり活動センター」訪問
2	R7.12.10	<ul style="list-style-type: none"> ・南予サイン訪問（山口 MG から移住施策等説明） ・松山市内で愛大生による食を通じたプロジェクト演習視察 ・松前町「有明公園」などの地域資源を視察
3	R8.1.8	<ul style="list-style-type: none"> ・tiliki で県・関係団体とのミーティング参加 ・西予市役所訪問（南予3市町の移住担当者との意見交換等）
4	R8.2.10	<ul style="list-style-type: none"> ・西条市「SAIJO BASE」訪問 （空き家管理をテーマとする地域づくり課題解決勉強会&交流会参加）
5	R8.2.19	<ul style="list-style-type: none"> ・四国中央市「霧の森」訪問（「地域づくりマネジメント講座」参加） ・総務省アドバイザーや島根県実践者、参加者らと意見交換

4 その他関連事業

(1) ホームページ等による情報発信

センターのホームページや SNS (Facebook、Instagram) を通じて、事業活動の紹介や地域づくりに関する各種情報を広く周知している。また、各事業の実施に当たってはパブリシティ活動に努め、メディアによる露出を図った。

(2) 調査等受託事業

- ・ 愛媛県観光物産関係事業者満足度調査事業 ((一社)愛媛県観光物産協会より受託)